ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/08/30 号(As of 2024/08/29)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	144.54
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	144.46	1.1125	160.58	1.3194	0.6783
SYD-NY High	145.55	1.1139	161.27	1.3226	0.6824
SYD-NY Low	144.22	1.1056	160.08	1.3146	0.6781
NY 5:00 PM	144.99	1.1077	160.65	1.3170	0.6798

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,335.05	243.63	日本2年債	0.3600%	▲0.0100%
NASDAQ	17,516.43	▲ 39.60	日本10年債	0.8900%	0.0000%
S&P	5,591.96	▲ 0.22	米国2年債	3.8959%	0.0309%
日経平均	38,362.53	▲ 9.23	米国5年債	3.6673%	0.0046%
TOPIX	2,693.02	0.90	米国10年債	3.8625%	0.0247%
ｼｶｺﾞ日経先物	38,305.00	135.00	独10年債	2.2810%	0.0280%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,379.64	35.79	英10年債	4.0175%	0.0155%
DAX	18,912.57	130.28	豪10年債	3.9600%	0.0150%
ﾊﾝｾﾝ指数	17,786.32	93.87	USDJPY 1M Vol	12.15%	▲0.40%
上海総合	2,823.11	▲ 14.32	USDJPY 3M Vol	11.53%	▲0.05%
NY金	2,560.30	22.50	USDJPY 6M Vol	10.52%	▲0.07%
WTI	75.91	1.39	USDJPY 1M 25RR	▲1.81%	Yen Call Over
CRB指数	279.88	2.27	EURJPY 3M Vol	10.12%	▲0.02%
ドルインデックス	101.34	0.25	EURJPY 6M Vol	9.65%	▲0.02%

【昨日の指標等】

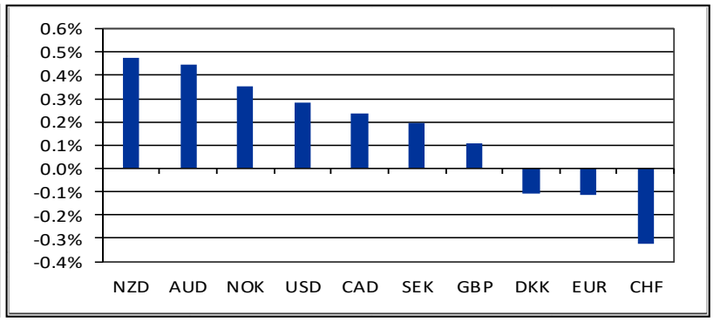
Date	Time		Event		結果	予想
8月29日	18:00	欧	消費者信頼感・確報	8月	-13.5	-
	18:00	欧	ｻｰﾋﾞｽ業信頼感指数	8月	6.3	5.2
	18:00	欧	鉱工業信頼感指数	8月	-9.7	-10.8
	21:00	独	CPI速報(前月比/前年比)	8月	-0.1%/1.9%	0.0%/2.1%
	21:30	米	GDP(年率/前期比)	2Q S	3.0%	2.8%
	21:30	米	個人消費	2Q S	2.9%	2.2%
	21:30	米	卸売在庫(前月比)・速報	7月	0.3%	0.3%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	24-Aug	231k	232k
	23:00	米	中古住宅販売仮契約(前月比)	7月	-5.5%	0.2%

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
8月30日	08:30	日	失業率	7月	2.5%	2.5%
	08:30	日	東京CPI/コア/コアコア	8月	2.3%/2.2%/1.4%	2.2%/2.2%/1.5%
	08:50	日	鉱工業生産速報(前月比/前年比)	7月	3.5%/2.7%	-4.2%/-7.9%
	18:00	欧	CPI速報値(前月比/前年比)	8月	2.2%/0.2%	2.6%/0%
	18:00	欧	失業率	7月	6.5%	6.5%
	21:30	米	PCE価格指数(前月比/前年比)	7月	0.2%/2.5%	0.1%/2.5%

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.00-146.00	1.105-1.1400	159.00-162.00

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は144.46ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。その後は実需ﾌﾛｰと思われる買いが見られたものの、新たな材料に乏しく午前中は売買が交錯した。午後に入るとﾄﾞﾙ円は小幅に上昇し、東京高値の144.86をつけた。結局144.56ﾚﾍﾞﾙで欧州へ渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、144.56ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。方向感の出にくい展開で変わらずの144.58ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは、1.1132ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。独8月の各州CPIが弱い結果となったことで午後に予定される国全体のCPIの弱い結果を見越してかﾕｰﾛに売り。一時1.1072まで低下し1.1096ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は144円台半ばでｽﾀｰﾄ。実需の買いや、日経平均株価が徐々に上昇する展開を横目に、144.86まで上昇。しかし、その後は伸び悩み、144.58ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方に発表された米第2四半期GDP(改定値)が予想を上回り、構成項目の個人消費も予想以上の伸びを見せた事に加えて、米新規失業保険申請件数も予想を下回った事がﾄﾞﾙ買い材料となり、145.55まで上伸。午後は米金利が上昇幅を縮小させる動きが重しとなり、一転じり安での推移が続き、144.99ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.11台前半でｽﾀｰﾄ。1.1139まで上昇する場面もあったが、その後独金利が低下する動きを受け反落し、1.1096ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。ｵｰﾌﾟﾝ直後に発表された独8月CPIが予想を下回った事を受け、ﾕｰﾛ売りが強まり、1.1056まで続落。売り一巡後は1.1080付近まで戻す。午後は1.1080付近での推移が続き、1.1077ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、東京時間から欧州時間にかけては目立った材料がない中、144台半ばを中心に方向感に欠ける狭いレンジでの推移。米国時間に公表された米4-6月期GDP(改定値)では個人消費を中心に市場予想を上回る結果になると、ドル買いの流れが強まり、一時145円50銭台を付ける場面が見られた。もっとも、その後は次第に円高ドル安の流れとなる中144円台まで値を戻す展開となった。

本日のドル円は、上値が重い展開を予想。月末五・十日ということで、実需フローが交錯する可能性が高いものの、この水準で輸入勢が積極的にドルを買ってくることは想定しずらいだけに、輸出フローがやや優勢になりそうだ。米国時間には7月PCEが公表される。結果によっては、ドル円も思わぬ方向に動く可能性があるだけに注意が必要である。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・武藤